

2022年10月

『 Mountain Stream 』

～ やまなし ～

宮沢 賢治

『 Mountain Stream 』は、宮沢賢治の代表作の一つで、小学6年生の教科書にも載っている、『やまなし』を英語に訳したものです。

詩人アーサー・ビナードと、アニメーション作家、山村浩二が、8年かけて仕上げたバイリンガル絵本とよばれる新しいタイプの絵本でもあります。

英文のよこに日本語も書かれているので、英文が理解できないときは、日本文を見てはなるほどと頷きながら読み進むことができます。その結果、とても興味深い世界がそこに広がるのです。

英語が得意不得意に限らず、賢治作品の英訳を楽しめる一冊です。

とにかく、訳者であるアーサー・ビナードには感心させられます。彼は、この童話に出てくる不思議で、謎の生き物、「クラムボン」を「Larvy-Doo」と訳しているのです。その理由をビナード自身が巻末に解説していますので、ぜひそこも、読んでいただきたいと思います。

賢治を研究している人のなかには、この童話は哲学的な童話だと言う人がいましたが、英訳と読み比べてみて、そのことがわかるような気がします。

それは、淡く幻想的な山村のイラストによることも、大きかったかもしれません。



アーサー・ビナード

【ストーリー】

谷川の情景を「二枚の青い幻灯」と称し、谷川の底の蟹の兄弟が見る生き物たちの世界を描いたもので、晩春の5月の日中と初冬の12月の月夜の2部で構成されている。5月にはカワセミによる魚の殺生が行われ、12月には蟹の兄弟も成長し、ヤマナシの実りが訪れる。